

## 第3回 議会議員の定数及び任期等検討小委員会

と き：平成15年11月2日(日)

午後6時～

と ころ：宮城県築館合同庁舎

第5会議室

### 次 第

1 開 会

2 開会の挨拶 高橋 義雄 委員長

3 案 件

1) 議会議員の定数及び任期等の検討

2) その他

4 閉会の挨拶 白鳥 一彦 副委員長

5 閉 会

第2回議会議員の定数及び任期等検討小委員会各委員発言概要(10月24日(金)開催)

氏名	町村	職名	意見	本則	定数	在任
石川正運委員	築館町	議会議員	在任特例35%、定数特例が35%、本則30%というのが築館町議会の割合 小さな町村への配慮も必要という意見があった		未定	
高橋義雄委員	若柳町	"	若柳町議会は本則で集約された。 小さな町村への配慮も必要との意見もあった。それで、本則に1割、1割5分増しもやむをえないの ではという意見もあった。選挙区は、一体感の妨げになるが要検討			
千葉伍郎委員	栗駒町	"	第14回特別委員会の資料を提示。意見集約としては、栗原1つとする方法、ブロックわけした方法 とで集約した。1つとした場合の本則指示は55%、意思表示なしは25%、残りは定数であった。 合併で、小さな町村への配慮をすべきという意見もあった			
佐藤幸生委員	高清水町	"	高清水町から議員を選出させるには本則では難しいのでは。中心から外れる地域としては声を反映さ せる必要がある。ある一定期間在任特例という声もあった。定数特例と、在任特例が半々というの が、高清水町議会	×		
佐藤重美委員	一迫町	"	欠席			
佐々木幸男委員	瀬峰町	"	町議会特別委員会でも議論してきた。この経過から議員として、在任特例で新市へ引き継ぐ姿を見届 けたいという集約になった。しかし4年で長いので、短縮も可(2年以内)			
菅原登委員	鶯沢町	"	財政を考慮すれば、在任はないと思う。地域審議会がどの程度地域の声を反映させられるか難しい。 そうなると定数特例も検討に値する			
高橋光治委員	金成町	"	町議会では特別委員会で検討している。私個人としては原則選挙だが、今までの協議会での協議結果 から定数特例も検討して併せて検討していくべきと思う。定数特例の場合はそれなりの根拠を明確に すべきと思う			
遠藤實委員	志波姫町	"	町議会の考えは10月31日まで集約となっている。特別委員会の委員長としての立場で、個人の考えを 本日表明するのは難しい		未定	
茂泉文男委員	花山村	"	人口が少ないので、1人、2人の議員は欲しい。1回目の選挙は選挙区を設けて選挙を行って欲しい			
長谷川厚子委員	築館町	学識経験	原則30人を希望します。在任特例は住民の理解得られない。 新市議会の数を選ぶのだから、役割を認識して結論をだすべきと思う。			
三浦徹也委員	若柳町	"	財政健全化、行政改革が目的と思うので、在任特例は賛成できない。本則か、定数特例かと思う			×
佐藤多恵子委員	栗駒町	"	本則30人でお願いしたい。ある一定規模以内での区割りとするので			
海老田慶子委員	高清水町	"	本則選挙と考えていた。議員が一人もでないようだと大変なので、例えば各町村から2名ずつで残り をどうするかを検討していくべき。もしそれが無理であれば、60人以内で極力少なくと思う。			
白鳥文雄委員	一迫町	"	本則選挙でいくべきである。財政事情を考えれば 将来は、住民自らが地域自治をしていけばいい			
津藤國男委員	瀬峰町	"	在任特例はありえないと思う。住民の理解が得られないと思う。 原則か、定数特例かと思う。			×
須藤茂委員	鶯沢町	"	本則は筋と思うが、住民の意見を反映させるためには、定数特例と思う			
後藤和廣委員	金成町	"	30人の原則選挙と思う。財政が厳しい中で、152人の議員を優遇するのはおかしい			
白鳥一彦委員	志波姫町	"	人口少ない町村を考えるべき			
中條彦登委員	花山村	"	人口が少ないので、住民の意見を聞くと、1回目は定数特例、2回目以降は原則どおり			